



服部隆幸 先生  
春日部市立医療センター  
眼科 主任部長



2024年7月29日

### DME

DME<sup>1)</sup>  
IOI<sup>1)</sup> KESTREL<sup>1)</sup> KITE<sup>1)</sup> 100<sup>1)</sup>  
6mg<sup>1)</sup> IOI<sup>1)</sup> 4.2%<sup>1)</sup> 2.2%<sup>1)</sup>  
IOI<sup>1)</sup>

### IOI

AMD<sup>2)</sup> IOI<sup>2)</sup> DME<sup>2)</sup> AMD<sup>2)</sup>  
IOI<sup>3)</sup> VEGF<sup>3)</sup> VEGF<sup>3)</sup>

### IOI

IOI<sup>1)</sup>  
IOI<sup>1)</sup> OCT<sup>1)</sup>  
IOI<sup>1)</sup>

IOI<sup>1)</sup>







✕ 1. 禁忌<sup>1</sup>

- 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者さん
- 眼または眼周囲に感染のある患者さん、あるいは感染の疑いのある患者さん
- 活動性の眼内炎症のある患者さん

i 2. 必ず伝えるべきこと<sup>1,2</sup>

- 患者さんに、下記のような症状や視力の変化があった場合は、速やかに受診するよう伝えてください
  - まぶしく感じる
  - 黒い点が見える (飛蚊症)
  - 目の痛みや不快感
  - 目のかすみ (視力の低下(を感じる))
  - 目やに (眼充血の悪化、まぶたや目の周囲の腫れ)

✓ 3. チェックすること<sup>1</sup>

- 本剤による網膜血管炎または網膜血管閉塞の既往歴がある患者さんには、再発のおそれがあるため本剤の再投与はしないでください(これらの病態の発現には本剤への免疫応答が関与していることが報告されています)
- 本剤による網膜血管炎または網膜血管閉塞は、眼内炎症(ぶどう膜炎、虹彩炎、硝子体炎、虹彩毛様体炎など)に併発することがあるため、眼内炎症があらわれた場合は、患者さんの状態を十分に観察してください

↶ 4. 処置

- 眼内炎症が認められた際は、ステロイド点眼などの標準的な治療を行ってください<sup>3</sup>
- 網膜血管炎および網膜血管閉塞を含む眼内炎症が認められた場合は、プロルシズマブの投与を中止するなど適切な処置を行ってください<sup>1</sup>
- 網膜血管炎または網膜血管閉塞があらわれた患者さんでは、再発するおそれがあるため、プロルシズマブを再投与しないでください。これらの事象は眼内炎症(ぶどう膜炎、虹彩炎、硝子体炎、虹彩毛様体炎など)に併発することがあるため、眼内炎症があらわれた場合、患者さんの状態を十分に観察してください<sup>1</sup>

1 ペオピュ硝子体内注射用キット120mg/mL 電子添文 2023年12月改訂

2 ペオピュ硝子体内注射用キット120mg/mLによる治療を受ける患者さまへ 2023年6月作成

3 ペオピュを適正にご使用いただくために 2023年12月作成

プロルシズマブ 120mg/mL 2023年12月改訂  
 プロルシズマブ 120mg/mL 2023年6月作成  
 プロルシズマブ 120mg/mL 2023年12月改訂

1 Wykoff CC, et al. *Am J Ophthalmol* 2024; 260: 70-83.  
 2 Mukai R, et al. *PLoS One* 2021; 16: e0259879.  
 3 Wykoff CC, et al. *Lancet* 2022; 399: 741-755.

COI  
 1 4 7 1 100  
 3

□□□□-□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□

---

**Source URL:** [https://prod.pro.novartis.com/jp-ja/products/beovu/dr-interview/dr\\_hattori](https://prod.pro.novartis.com/jp-ja/products/beovu/dr-interview/dr_hattori)